

# Annual Report 2023

**Solidaridad**



**Solidaridad Japan**

# 目次

1. ソリダリダード・ジャパンについて
2. ソリダリダード・ジャパンの歩み
3. 2023 年の活動
4. 団体概要
5. 財務情報

## ご挨拶

国際 NGO ソリダリダード・ネットワークの一員として、ソリダリダード・ジャパンが誕生して4年が経ちました。2023 年は国連持続可能な開発計画(SDGs)の折り返し年でしたが、夏の暑さや自然災害を通して「人と環境の共生」への取り組みが待ったなしであることも切実に感じられ、気候変動/気候危機に関する報道が増えた年でもありました。水や土地のサステナビリティに配慮しつつ、途上国の小規模農民の生活向上に焦点を当てるソリダリダードの活動はますますその意義を高めていると思います。

日本の企業にとって SDGs はもはや常識ですが、各社それぞれの商品やサービスを提供する際に、それにかかわるサプライチェーンの環境、人権配慮がもたれられ、幅広い意味でのサステナビリティを高める必要に迫られています。

ソリダリダード・ジャパンは、こうした課題を抱える日本の企業様とともに、途上国での原材料生産、加工、製造過程におけるサステナビリティの向上に取り組んでいきたいと考えています。世界各地の途上国で展開されているソリダリダードの活動現場は、日本企業のサプライチェーンと重なることも少なくありません。

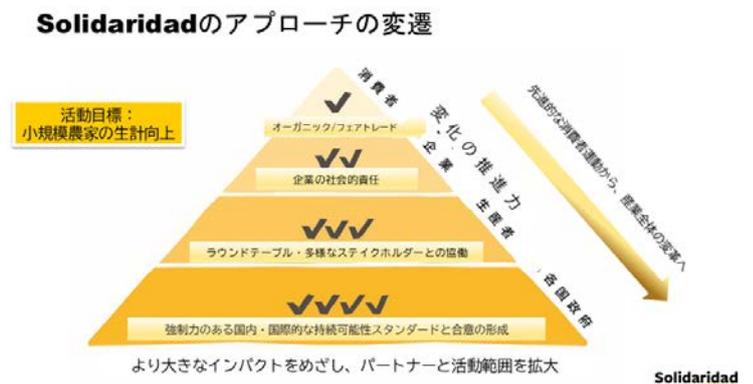
企業様と我々のような国際 NGO とのコラボレーションで途上国の小規模農民の生活を向上させながら、企業のサプライチェーンをより持続可能にする取り組みは増えています。こうした活動に、私たちとともにチャレンジして下さる企業が増えていくことを願っています。

共同代表理事 佐藤 寛

## 1. ソリダリダード・ジャパンについて

ソリダリダードは持続可能な農産品サプライチェーンの構築を通じて、社会変革の推進に取り組んでいます。具体的な活動においては、サプライチェーンの各層に対してそれぞれアプローチしていく戦略をとっており、①小規模農家や労働者の経済的利益、②自然環境とのバランスが保てる農業、③社会的弱者の包摂、という3つの原則に沿って事業展開しています。

ソリダリダード・ジャパンはソリダリダードの一員として、日本の消費者および企業に対してサステナビリティに関する情報を提供し、エシカル消費やサステナブル調達を促し、国際的な連帯を呼びかけ、SDGsの達成に貢献する取り組みを推進します。



### ビジョン：「消費者の力」を呼び覚まします

発展途上国の小規模農漁民、工場労働者、鉱山労働者の生活向上は、私たちにとって遠い話題に見えます。しかし、実は、原料生産→加工→製造→流通→店頭へのつながる「サプライチェーン」を通じて、私たちとも間接的につながっているのです。ですからこのサプライチェーンを逆にたどれば、日本の消費者の力を使って、途上国の農民の生活向上を支援することも可能なのです。私たちはサプライチェーンに関する日本の消費者の問題意識と知識向上を促進します。

### ミッション：企業のSDGS取り組みを支援します

日本には、「三方よし」（売り手よし、買い手よし、世間よし）という経営哲学があります。これを現代的に活用することがCSR（企業の社会的責任）戦略やSDGs（持続可能な開発目標）達成戦略に結びつくのです。私たちは、50年にわたる開発NGOとしての経験に基づいて、企業のCSR戦略作りをお手伝いします。また一企業単独の取り組みが困難な場合には、市民社会（NGO、財団、協会など）との連携促進、ソリダリダードの世界に広がるネットワークのご紹介を通じて日本企業の途上国における「世間よし」活動推進を支援していきます。

## 2. ソリダリダード・ジャパンの歩み

2020年8月に設立。

「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 持続可能性に配慮した調達コード」について関心が高まる中、ソリダリダード・ジャパンは、パートナー団体である持続可能なサプライチェーン研究所と一緒に連続ウェビナーを実施し、ソリダリダードの活動紹介および持続可能な農産品の調達に関する情報を提供。

2022年、人権デューデリジェンスの実施が求められる中、ソリダリダード・ジャパンはオランダ大使館と「ビジネスと人権」に関するウェビナーを共催し、欧州の動向や取り組み事例を日本企業に紹介。

また、「連帯経済」の講座を実施、国内の先駆的な取り組み事例を紹介。

2020年

2022年



2021年

2023年

2021年、新型コロナウイルス感染症の流行による社会混乱が引き起こされる中、国連はSDGsの達成に向けた取り組みを一層高める必要があると提唱。

ソリダリダード・ジャパンは、SDGs達成へのツールとして「社会的連帯経済」の可能性を模索し、「連帯経済」の講座を実施。

2023年、企業は人権デューデリジェンスだけでなく、自然環境への影響においてもデューデリジェンスの実施が要求されるようになり、各社は温室効果ガスの排出削減に向けた取り組みを加速。

ソリダリダード・ジャパンは、農業の分野において生産・収益の向上と自然環境の再生をめざす「リジェネラティブ農業」および「持続可能なパーム油の」ウェビナーを実施。

## 3. 2023年の活動

ソリダリダード・ジャパンは、エシカル消費と持続可能な調達を推進するために、いくつか異なるテーマに関するウェビナーを開催し、サプライチェーンの上流にあたる農産品の生産や農家・農村の課題と、生産地で発生する課題に対するソリダリダードの解決策を紹介し、サプライチェーンの下流にあたる日本の消費者や企業の理解促進に取り組みました。また、複数の日本企業と個別に意見交換し、日本マーケットにおける課題と、企業とNGOの協業による社会的インパクトを確認しました。更に、日本の他の市民社会団体と一緒にサステナビリティの推進活動を企画・実施しました。

## 主な活動：

活動	概要	ターゲット
テーマ別ウェビナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 5月に「リジェネラティブ農業」のウェビナー（第1回目）</li> <li>● 6月に「リジェネラティブ農業」のウェビナー（第2回目）</li> <li>● 9月に「持続可能なパーム油」のウェビナー</li> <li>● 12月に「土壌の健全性」のウェビナー</li> </ul>	参加登録：106名 参加登録：132名 参加登録：101名 参加登録：117名
コンテンツ配信	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サステナビリティ、とりわけ持続可能な農産品サプライチェーンに関する重要情報の公開・提供</li> </ul>	講演動画：8本 ポッドキャスト：1本 コラム：2本 バロメーター資料：3冊
企業との情報交換	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 持続可能な調達やサステナビリティへの取り組み方針・課題などについて、主にパーム油やコーヒーを取り扱う企業と個別に情報交換。</li> <li>● 途上国における持続可能な農業の普及・生産性の向上について、日本の農機メーカーやアグリテック企業と個別に情報交換。</li> </ul>	12社 4社
他の NGO との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>● JICA サステナブル・カカオ・プラットフォームの活動参加</li> <li>● JSCI（ジャパン・サステナブル・コットン・イニシアティブ）の活動参加</li> </ul>	参加会員：44名 実施したイベントの参加登録：356名

## その他：

インドネシアとマレーシアを訪問し、アブラヤシ栽培の小規模農家の農園管理とソリダリダートの農法指導活動を視察しました。また、国際開発学会の研究部会と一緒に社会的連帯経済に関連するのイベントを開催しました。更に、学生を対象に講演なども実施しました。



#### 4. 団体概要

団体名	一般社団法人 Solidaridad Japan
設立	2020年8月13日
所在地	東京都練馬区関町南4丁目23番地14号
URL	<a href="https://www.solidaridadnetwork.or.jp/">https://www.solidaridadnetwork.or.jp/</a>
役員	理事：佐藤 寛 理事：シャタドル・チャットパダヤイ
スタッフ	楊殿 閣（事務局長）
パートナー団体	一般社団法人 持続可能なサプライチェーン研究所
事務局連絡先	japan-info@solidaridadnetwork.org

#### 5. 財務情報（2023年1月1日から2023年12月31日まで）

##### 貸借対照表

令和5年12月31日 現在

一般社団法人 Solidaridad Japan

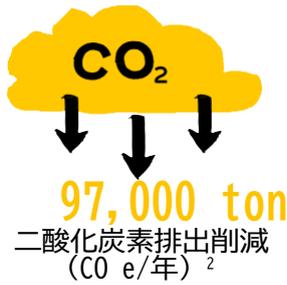
(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>	1,301,480	<b>【流動負債】</b>	1,271,115
現金及び預金	1,281,680	未払金	1,228,761
前払費用	19,800	預り金	42,354
		負債の部合計	1,271,115
		純 資 産 の 部	
		<b>【株主資本】</b>	30,365
		利益剰余金	30,365
		その他利益剰余金	30,365
		繰越利益剰余金	30,365
		純資産の部合計	30,365
資産の部合計	1,301,480	負債及び純資産合計	1,301,480

# Solidaridad 2024

Solidaridad は、地域社会をより強靱にし、より持続可能なサプライチェーンを構築するためのソリューションを開発してきた 55 年の経験を持つ国際的な市民社会組織です。私たちのソリューションは、すべての人に持続可能な生活を提供する包括的経済への移行を支援します。これには、適正な労働条件、起業家としての収入、自然とのバランスを保った生産が含まれます。

## 2023 年の実績



## 11 のグローバル商品



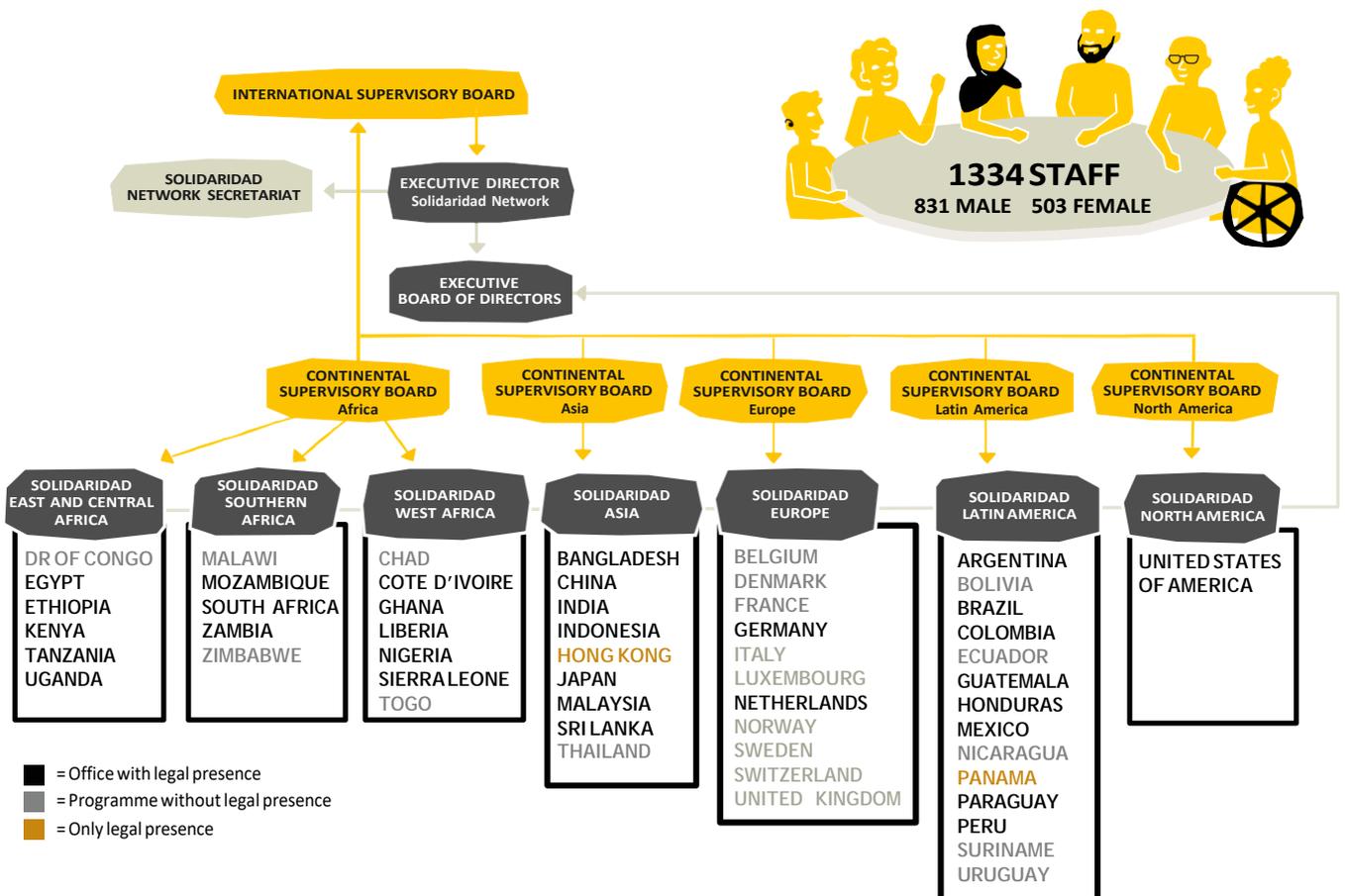
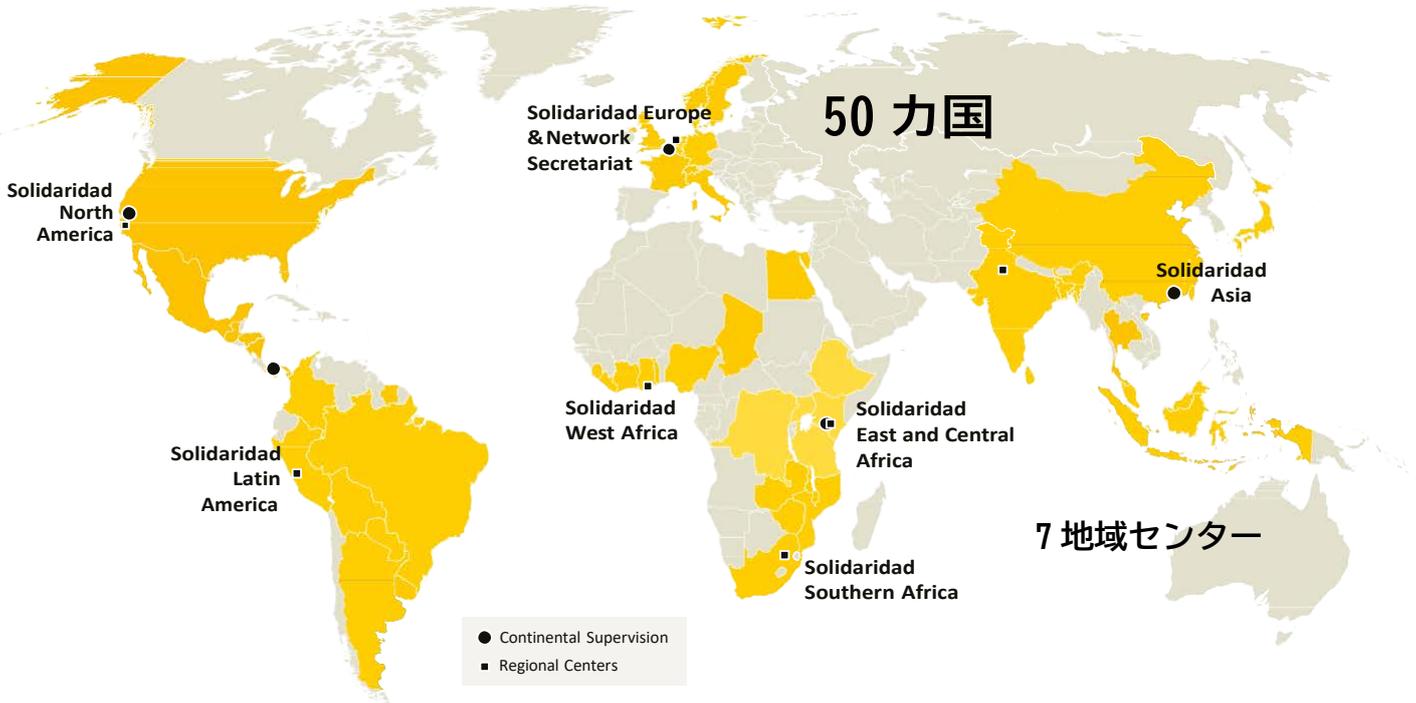
+ 各地域の産品

# ビジョンとミッション

私たちのビジョンは、すべての人のために機能する経済です。私たちが生産し、消費するすべてのものが、地球を、お互いを、そして次の世代を尊重しながら、私たちを支えることができる世界です。

私たちの使命は、持続可能性を当たり前ものにするためにサプライチェーン全体で取り組むことで、農家や労働者が生計を立て、自らの未来を切り開き、自然とのバランスを保ちながら生産できるようにすることです。

## グローバルネットワーク



## A FEW EXAMPLES OF OUR WORK

107,850 のコーヒー、紅茶、食品農家が、研修、高品質の投入資材、資金援助といったラストワンマイル・サービスへのアクセス改善と相まって、適切な農業慣行を採用することにより、平均 16.5% の生産増を達成した。



**EAST AFRICA**

2023 年、インドの紅茶プログラムは、24 の農民生産者組織（1,489 人の生産者が参加）と 124 の自助グループ（2,995 人の生産者が参加）の設立を支援した



**INDIA**



**EUROPE**

EU における零細農家を包括する法律の制定を求め、私たちは企業持続可能性デュー・ディリジェンス指令（CSDDD）と森林破壊規制（EUDR）に影響を与えた。



**SIERRA LEONE**

シエラレオネでは、初の自動カシューナッツ工場が完成し、効率的な加工が可能になった。80 人のコミュニティ・ファシリテーターを使って 360 の Farmer Field School で合計 4,968 人のカシューナッツ農家を訓練した。

ボリビアではカーギル社と協力し、200 人の大豆生産者とともに 21,220 ha の農地に持続可能な手法の導入した。パラグアイでは、445 人の生産者、農場労働者、協同組合のスタッフと協力し、6,998 ha を持続可能な管理を導入。



**SOUTH AMERICA**

東アフリカでは 43 の CSO が、アドボカシーやロビー活動のスキルを身につけ、地域や国連に参加できるようになった。国際的なセクター・ダイアログに参加し政策プロセスに影響を持った。



**EAST AFRICA**



**ZAMBIA**

ザンビアの AFR100 アグロフォレストリープロジェクトでは、合計 136,772 本の植樹と 227,473 本の苗木の育成が行われた。



**THAILAND**

デジタルによる継続的改善システムであるソリトレースシステムにより、果物農家における平均収穫量の 14.3 パーセント増加と、約 19 億リットルの水の節約達成を支援した。

「気候貧困に立ち向かうクライミング」イベントを開催し、3 万 5000 人以上、2 万 5000 ユーロ以上の寄付金を集めた。



**NETHERLANDS**

コロンビア(9,514)、ホンジュラス(1,557)、ニカラグア(6,910)において、ACORN プラットフォームに新たな生産者を登録。彼らは全員、アグロフォレストリーシステムの下で 44,317ha を管理。ペルーでは、最初の参加農家 376 名が 161,665 米ドルの支払いを受け取った。



**LATIN AMERICA**



**WEST AFRICA**

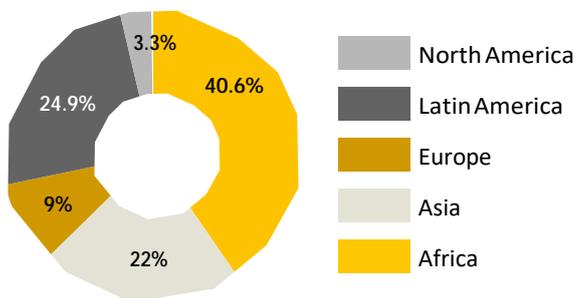
西アフリカでは、気候に適応した農業、収穫後の技術、貯蔵方法などの持続可能な手法について、15,718 人の農家を対象に研修を実施。



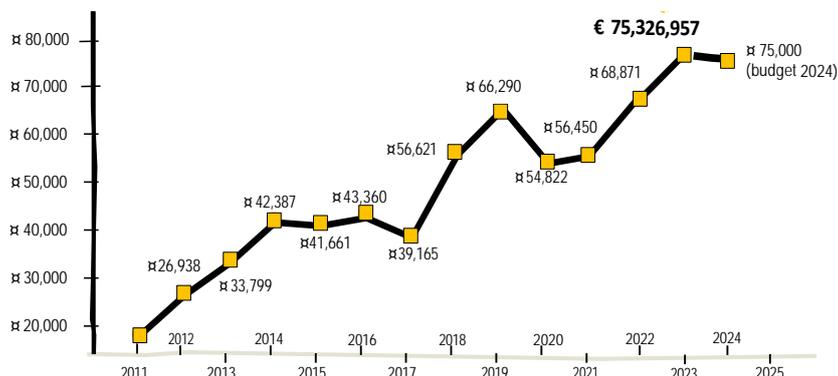
**SOUTHERN AFRICA**

3,258 人の生産者にポストハーベスト技術と貯蔵施設の建設に関する知識を提供し、持続可能な生産について、女性農民 916 人を対象に研修を実施。4,720 人の農民を登録し、金融リテラシーと村落貯蓄貸付の原則に関する研修実施。

## 支出と収入



Division of expenditure per continent 2023



Aggregated income (in EUR x 1,000) per year

Full financial statements can be found in our online annual report.

## ドナーおよびパートナーの一部

私たちの成果は、世界中の多くの政府、ドナー、企業からの惜しみない支援のおかげで初めて実現しました。私たちの収入のほぼ半分は政府からの助成金によるもので、なかでもオランダ政府が最大の貢献者です。



...among many others

[WWW.SOLIDARIDADNETWORK.ORG](http://WWW.SOLIDARIDADNETWORK.ORG)

**CHANGE THAT MATTERS**